

コード	60103
作成年度	26年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	効率的、効果的な財政運営と役場のスリム化
--------	----------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	参加と行政による協働のまちづくり
施策名称	行財政の効率化の推進

課コード	107	関係課名	総合政策課、総務課、まちづくり推進課、税務課、総合窓口課
主管課名	財政課		

## 基本事業の目的

自主財源確保のため、徴収体制強化、使用料等の見直しを行うとともに、外部委託の推進や民間活力導入など経費の削減を行い、効率的・効果的な財政運営と事務事業の見直しを図ることを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	実質公債費比率	成果指標名称 2	財政調整基金額
成果指標の積算根拠	実質公債費比率（決算値）	成果指標の積算根拠	財政調整基金額（決算値）
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	10.8%	目標達成数値	2,145,000千円

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	%	15.4	13.8	12.8	11.9	10.8
	実績 B		%	15.1	13.6	12.7	11.8	-
	達成率 B/A		%	102.0	101.5	100.8	100.8	
成果指標 2	目標 A	単位	千円	1,781,000	1,798,000	1,800,000	2,143,000	2,145,000
	実績 B		千円	1,780,313	1,900,949	2,021,575	2,142,601	-
	達成率 B/A		%	99.9	105.7	112.3	99.9	

1次評価	現状	財政健全化計画及び実施計画に基づき自主財源確保のため徴収体制の強化や、公債費の縮減のため繰上償還を実施してきたことにより危機的な財政状況からは脱した。平成25年度から新たな財政運営適正化計画により更なる財政運営の健全化を目指す。
	課題	今後、消防救急無線デジタル化整備事業や、ごみ焼却施設改修事業等の大型事業を控え、各種財政指標を監視しながら、財政運営適正化計画に基づき健全な財政運営を図る。
	改善	毎年の決算の状況により、財政運営適正化計画の整合性・見直しを行っていく。震災後の国の状況によっては交付金、補助金等の状況に不安があるが、可能な限り繰上償還を行っていく。

2次評価	財政状況については、合併特例債の発行期間延長による財政運営適正化計画の見直しを図り、健全化を維持すること。また、財政状況は住民への公表等説明責任を果たしていくこと。今後、職員数の減による事務事業の見直しが必要になってくるが、住民サービスの低下にならないよう、全課連携し推進すること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	601030201	標準宅地鑑定評価委託事業	税務課	998千円	(途中) このまま事業を継続
2	601030401	納税組合育成奨励事業	税務課	6,629千円	(途中) 事業内容を見直して継続
3	601030903	住基ネット機器更改事業	総合窓口課	9,690千円	(事後) 平成25年度で事業完了
4	601031101	総合計画（基本構想、基本計画、振興計画）推進事業	総合政策課	486千円	(途中) このまま事業を継続
5	601031301	ふるさと応援寄附事業	まちづくり推進課	2,614千円	(途中) このまま事業を継続
6	601031409	人権擁護委員協議会補助事業	総務課	280千円	(途中) このまま事業を継続
7	601031410	自家用自動車協会補助金	総務課	70千円	(途中) このまま事業を継続
8	601031411	更生保護協会上五島支部補助事業	総務課	800千円	(途中) このまま事業を継続
9	601032101	行政評価の実施事業	総合政策課	-	(途中) 事業内容を見直して継続
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				21,567千円	